

F☆☆☆☆

つや有合成樹脂エマルジョンペイント

DNTビューウレタン



低汚染性

優れた作業性

多用途

快適・安全な
塗装環境

用途

建築物の内外部壁面のコンクリート・モルタル・各種ボード・木部、屋内外鉄部の
新設及び塗り替え ※上記以外の用途に使用される場合は弊社にお問い合わせ下さい。

容量

15kg、4kg

色相

白、各色

光沢

つや有り・7分つや・5分つや・3分つや

大日本塗料株式会社

塗料性状

項目	内容			
容姿	一液性			
荷姿	15kg、4kg			
色相	白、各色			
光沢※2	つや有り、各つや(3つ以上)			
密度 (23℃)	塗料	1.00~1.30 (白・淡彩色)		
	揮発分	1.00		
粘度 (23℃)	85~110KU			
加熱残分	40%以上 (白・淡彩色)			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	45分	15分	10分
	半硬化	2時間	25分	20分
標準膜厚	25~30µm/回			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照			

塗装基準

項目	内容			
下地処理	素材表面の油分、汚れ、埃などを除去し乾燥した 清浄な面とする。 pH10以下、含水率10%以下			
調査法	—			
熟成時間	—			
可使用時間	—			
塗装方法	刷毛・ローラー、スプレー			
希釈剤	水道水			
塗装法	塗装方法	刷毛・ローラー	エアレス※3	
	希釈率	5~10%	10~20%	
	標準使用量※4	0.10kg/m ² /回	0.12kg/m ² /回	
	標準膜厚	25~30µm/回		
乾燥時間	ウェット管理膜厚	—		
	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	4時間	2時間	1.5時間
最大	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	

関連法規

危険物表示	—
有機溶剤区分	—
有害物表示	SDS参照
劇物表示	—

- ※1 左記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
※2 各つやの数値については別途お問い合わせ下さい。
※3 エアレスの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。
※4 標準使用量は実測値に基づき算出しています。また被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。

標準塗装仕様

①モルタル・コンクリート面の平滑仕上げ (新設および塗り替え)

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈率 (%) (重量比)	塗り回数 (回)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)	
1	素地調整	1.ワイヤブラシ・サンドペーパーなどを用いて、劣化塗膜、汚れや油分などの付着物を除去し、乾燥した清浄な面とする。 2.全面目粗しを行う。							
2	下塗り	マイティー万能水性シーラー	白 クリヤー	主剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー	0~10	1	0.10~0.12	4時間以上 7日以内
		— 又は —	—		エアレス	0~20		0.12~0.15	
3	上塗り	DNTビューウレタン	各色	—	刷毛・ローラー	無希釈	1	0.11	2時間以上 1ヶ月以内
					—	—		エアレス	
3	上塗り	DNTビューウレタン	各色	—	刷毛・ローラー	5~10	2	0.10	2時間以上
					—	—		エアレス	

②屋内外鉄部 (新設および塗り替え)

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	塗装方法	希釈率 (%) (重量比)	塗り回数 (回)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)	
1	素地調整	1.ワイヤブラシ・サンドペーパーなどを用いて、さび・劣化塗膜、汚れや油分などの付着物を除去し、乾燥した清浄な面とする。 2.全面目粗しを行う。							
2	下塗り	マイティー万能水性シーラー	白	主剤 14部 硬化剤 1部	刷毛・ローラー	0~10	1	0.10~0.12	4時間以上 7日以内
		— 又は —	—		エアレス	0~20		0.12~0.15	
3	上塗り	DNTビューウレタン	各色	—	刷毛・ローラー	0~10	1	0.13	2時間以上 1ヶ月以内
					—	—		エアレス	
3	上塗り	DNTビューウレタン	各色	—	刷毛・ローラー	5~10	2	0.10	2時間以上
					—	—		エアレス	

- ※1 屋外での塗装に関しては2回塗りを行って下さい。
※2 屋内鉄部限定の仕様となります。
※3 3人が触れる箇所、常時物が置かれる箇所は使用を避けて下さい。

施工上の注意

- 【素地調整に関わる注意】
- 新しいモルタルやコンクリート面の養生は十分に行って下さい。原則として3週間以上が適当です。
含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。
 - 旧塗膜の厚さや有害な付着物は、高圧洗浄機やワイヤブラシ・皮スキ・ケレン棒などで完全に除去してから塗装して下さい。処理が不十分な状態の塗装は、塗膜のはく離、つやの低下などの原因となります。
(判定方法: 乾燥後ガムテープを貼り付け、強く引く張って剥がし、素地が剥がれないことを確認して下さい。)
 - チョーキング現象、高圧洗浄機(15MPa(150kg/cm²)以上)で入念に洗浄し、劣化塗膜や粉化物を除去して下さい。
 - 洗浄後、1日以上乾燥させて下さい。また素材表面が雨・露などで濡れている場合は、十分に乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分な状態での塗装は、はく離・ふくれ・割れ・つやの低下などの原因となります。
 - さびの発生部ではワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去を行い、十分な素地調整をして下さい。
 - こみ・埃・砂・油・ワックスなどが付着している場合は、ハジキや付着不良の原因となりますので、完全に除去して下さい。
 - 1日塗膜に発生したかび・藻などは必ず除去し、清浄な面として下さい。
 - 塗り替え工事の際、下地の厚さには事前に樹脂の注入を行って下さい。
- 【塗装に関わる注意】
- 結露しやすい地域や季節には塗装時間に注意し、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保して下さい。
 - 屋外での塗装の際は天候を確認し、降雨・降雪のおそれがある場合は塗装しないで下さい。
 - 本製品は建築塗料です。本来の用途以外に使用しないで下さい。
 - 飛散防止のため、必ず養生をして下さい。
 - 塗装後約24時間以内に乾燥不十分な状態、降雨・結露が起こるおそれがある場合、または高温・低温になる場合、過湿の場合には、はく離・ふくれ・割れ・白化・シミなどが発生するおそれがありますので、塗装しないで下さい。
 - 本商品は水道水で希釈しますが、所定以上に希釈しないようにして下さい。過剰な希釈をすると、本来のつやが出なくなる可能性がありますので、必ず規定の希釈率を守って塗装して下さい。
 - 吸い込みの激しい素材の場合は、下塗り回数を増やして下さい。
 - 塗料は電動ミキサーを使用して十分に攪拌し、内容物を均一にして塗装して下さい。
 - 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所では塗装しないで下さい。
 - 金属面で素地の露出がある部分については、下塗りの補修塗装を行って下さい。
 - 硬化不良の原因となりますので、指定された希釈剤以外には使用しないで下さい。

使用上の注意

- 取扱いには下記の注意事項を守って下さい。 ※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 取扱い上の注意
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
 - よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
 - 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 - 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 - 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

- 汚れや傷などで補修塗装が必要になる場合がありますので、使用塗料と塗装方法の控えを必ずとり、同一塗料・同一方法で補修塗装をして下さい。
- 十分な塗膜性能を確保するため、標準使用量を守って塗装して下さい。
- 下地の1mm以上のクラックは、Uカット後シーリング材を充填し、表面をセメントフィラーで処理して下さい。
1mm以下のクラックは、DNT弾性フィラー液テクトMAXを刷毛、又は中毛ローラーで塗布して下さい。
- 塗装中及び乾燥中は、揮発した溶剤成分や蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ローラー・刷毛などの用具は、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどの原因になるおそれがありますので、塗装後速やかに洗うか、専用でお使い下さい。固着した用具を洗う場合は、ラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- 速乾のため刷毛がたまりやすいので、ナイロン製刷毛を使用して下さい。
- 拭き取るか、砂などを散布した後に処理を行って下さい。
- 「マイティーカーボVOC」で調色可能です。(但し3%以内)
- 下塗りに二液型塗料を用いる場合、主剤と硬化剤の混合割合は厳守して下さい。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発揮されず、仕上がりや作業性が低下するおそれがあります。
- 容器は基本的に閉栓して保管して下さい。止むを得ず開栓する場合は、安全性が確保された適切な取り扱い器具で垂直に振り上げ、落下には十分注意して下さい。(備前重なる場合、落下事故につながる危険性があります。)
- 旧塗膜の種類によっては、ふくれや縮みなどの異常が発生する場合があります。必ず旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討下さい。
- 下塗材には必ず指定の材料を使用して下さい。

- 【保存・保管に関する注意】
- 塗料は開封後、一度に使い切るようにして下さい。止むを得ず保存し直す場合には、厳重に密閉した後、冷暗所で保管し、速やかに使い切ってください。
 - 屋外での塗料の貯蔵はしないで下さい。また、直射日光が当たらない場所で貯蔵して下さい。
 - 適切な保存方法では引火の心配はありませんが、極端な高温(50℃以上)の環境での保管は避けて下さい。

- 【製品の情報について】
- 安全衛生・法規についての情報が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
 - 規格表示・膜厚・乾燥時間・塗膜間隔などの製品情報が必要な場合には、単品説明書をご参照下さい。

*本カタログ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

DNT 大日本塗料株式会社

●東日本販売部

- 東京営業所 ☎ 03-5710-4501 ☎ 144-0052
札幌営業所 ☎ 011-822-1661 ☎ 003-0012
仙台営業所 ☎ 022-288-8866 ☎ 984-0001
北関東営業所 ☎ 0480-26-5111 ☎ 346-0013
新潟営業所 ☎ 025-244-7890 ☎ 950-0912
千葉営業所 ☎ 043-225-1721 ☎ 260-0015
神奈川営業所 ☎ 042-786-1831 ☎ 252-0233
静岡営業所 ☎ 054-254-5341 ☎ 420-0857

●西日本販売部

- 大阪営業所 ☎ 06-6266-3116 ☎ 542-0081
名古屋営業所 ☎ 052-332-1701 ☎ 460-0022
富山営業所 ☎ 076-444-5260 ☎ 930-0005
京滋営業所 ☎ 075-595-7761 ☎ 607-8085
姫路出張所 ☎ 079-226-5727 ☎ 670-0965
岡山営業所 ☎ 086-214-1852 ☎ 700-0034
広島営業所 ☎ 082-286-2811 ☎ 732-0802
高松営業所 ☎ 087-869-2585 ☎ 761-8075
福岡営業所 ☎ 092-938-8222 ☎ 811-2317

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>